

# 酪農とちぎ



## 収穫の秋

記録的な猛暑も和らぎ、農作物の収穫期を迎えました。皆さんにはトウモロコシ収穫の真っ最中かと思いますが、相次いだ台風の影響、一時的な天候不順により品質収量が心配されたものの、全体的には豊作のようです。

ここ当分、多忙の毎日でしょうが、農作業事故には十分ご注意ください。

愛牛達も夏の疲れが相当蓄積されております。早急な疲労回復に努め、受胎率の向上に励んで下さい。

飲用向乳価交渉は、関東生乳販連が酪政連の支援を受けながら各メーカーと交渉中です。乳価値上げ実現に向け、尚一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



# 乳価即時値上げ要求 全国酪農民代表者大会開催



日本酪農政治連盟による全国酪農民代表者大会が、八月二十六日東京港区の虎ノ門パストラルにて四百人が氣勢を上げる中、盛大に開催されました。

席上、阿佐美酪政連委員長は「われわれ酪農家の現状の経営は極めて危機的状況にあり、BSE、食品の偽装表示をはじめ、牛乳の

安売りによる生産者乳価のシワ寄せなどの課題が山積している。昨年来、現場の声を反映し、全国的に生産者支払乳価の改訂を求める熾烈な運動を展開し、かつてない運動の高まりを見せている。乳業者も『今日の牛乳市場価格でいいのか』という疑問を持ち、価格改正を行なう必要があるとの認識で一致していることが今年の大きな特徴だ。生産者の立場からは、生産者支払乳価が改訂されていて当然だが、具体的な乳価改訂まで至らず、極めて不満足な回答となっている。目的達成まで頑張っていく決意を固めると共に、一定の配乳変更に伴なうリスクについても、生産者の結束を強めていきたい。」と強調。また江藤隆美酪政会会長

他、関係国會議員からも激励及び支援の約束を頂き、大会を盛り上げた。

続いて情勢報告があり、指定団体は本年二月にキロ五円以上の要求を決定し交渉を開始した。その後、八月には中酪、生乳取引等対策委員会が八月中の交渉期限、九月からの新乳価で取引実現に向け最大限の努力を確認していると報告。本大会においては、乳価値上げ要求決議の他、BSE疑似患畜の範囲の緩和を要請する決議も行った。この後、出席者全員によるガンバロー三唱を行い、大手乳業メーカー等への要請に向かった。本組合からは那須高原支所組合員二十一名が参加し、明治・雪印・全農・全酪連に班編成し強い要請運動を行いました。

前田組合長も日本酪農政治連盟栃木県支部連合会長として、明治乳業本社へ出向き、酪農経営の窮

状及び生産者乳価の即時引き上げを強く訴えた。具体的な交渉の身については、取引当事者間で交渉中であります。各社とも酪農家の思いはわかるが、市場環境が改善されない状況の中で、難しさはあるが努力したい。」との事であった。今後とも酪政連執行部が交渉を続ける事で散会しました。

## 酪農民大会スローガン

- 一、生産者乳価の即時大幅引上げを勝ち取る
- 一、生乳の乱販売を撲滅し、適正価格の実現を図ろう
- 一、指定団体は強力な交渉を展開せよ
- 一、生産者乳価の引き上げて家族農業の安定を図ろう
- 一、BSE疑似患畜の範囲の緩和を実現しよう
- 一、畜産環境対策の生産者負担を軽減せよ



# 支所別全体研修会を開催

組織活動の一環として「支所別全体研修会」が各支所で盛大に開催されました。

天候は各支所とも快晴で、支所別全体研修会並びにアトラクションが行なわれました。

## 【那須高原支所】



八月八日午前十一時より那須町共同利用模範牧場に五百名の参加者で開催され、高原の牧場に吹くさわやかな風、那須岳を背景にした絶好のロケーションの中で、野外バーベキュー・子供向け×クイズ・お楽しみ抽選会が盛大に開催されました。各支部テント内では、思い思いのスタイルでバーベキューを楽しみ、組合員の親睦交流を深めました。



## 【宇都宮支所】



た。三十五度を超える猛暑であったが、美味しい物が口に入ると顔がほころび、会話も弾んでいた。またアトラクション等を通じ、束の間の時間ではあったが、組織の活性化と組合員の親睦交流を図る事が出来ました。

八月三日午前十一時より高根沢

のふれあい牧場に百二十名の参加者で開催され「まだ間に合う暑熱対策」の研修会を開催し、昼食後にターゲットゴルフ・ビンゴゲーム大会を開催しました。

研修会では、近年の猛暑対策に活発な質疑、意見を頂き盛会でし



【栃木県南支所】



八月二十二日午前十一時より二宮運動公園グラウンドに二百十名の参加者で開催され、平成十四年度酪農に係る補助事業について」の研修会を開催し、昼食後のアトラクションとして、ストラックアウト等を開催しました。今回の研修会で、より地域を越えた交流を図る

ため、各自が名札を着用しました。研修会では、補助事業等に対する質疑、意見を頂き盛会でした。また、アトラクション等を通じ、組合員交流を図る事が出来ました。



(那須高原支所) ×クイズ



(宇都宮支所) ターゲットゴルフ



(栃木県南支所) ストラックアウト

東西南北

【那須高原支所】

乳肉補助事業指導説明会  
を開催

乳肉複合経営体質強化事業の周知徹底を図るため、九月三日火曜日、五日月曜日、六日金曜日の三日間で、地域(市町村)ごとの指導説明会を開催いたしました。説明会出席者の皆様には、お忙しい中お集まり頂きましてありがとうございました。

今年度事業は、要領等に変更はありませんが、提出書類整備上の注意点を重点に次の内容について説明しました。

事業実施上の注意点

提出書類の説明

確認野帳等の記入の仕方について



乳肉補助事業は、提出書類が大変多いため、書類整備にご苦労されているかと思いますが、実績報告時に提出書類の不足や記入漏れ等が無いよう準備をお願いいたします。

なお、当事業についてご不明な点がございましたら指導課までご連絡下さい。

### 【宇都宮支所】

#### 女性会塩谷支部研修会

#### 開催される

九月三日、当支部は、支部会員の研修と親睦を図るため馬頭町の広重美術館と湯津上村のながわ水遊園の視察研修を実施しました。参加者は、支部員十三名、事務局二名と少人数でありましたが、和気あいあいと有意義な視察を楽しみました。車中では、支部長の田中克予さんをはじめ全員が自己紹介を行い、その後支所の後藤指

導課長が「BSEの基礎知識」と題し研修を開きました。

目的地の広重美術館で浮世絵を鑑賞し、そして楽しみにしていた昼食は、馬頭町名産のそば料理を賞味しました。その後ながわ水遊園に移動し水族館を見学しました。

研修会は日帰りの強行軍でしたが、JAしおのや高根沢支所を経由し、矢板市農業公社前に予定通り帰着しました。組合合併後初めての研修会で、支部員の相互の親睦が図られ今後の支部活動に大い



### 【栃木県南支所】

#### 経営向上のために

現在、経営向上月間として主に経営台帳と繁殖台帳の記帳整備を目的に巡回指導を行っております。

これらを基本に第一段階として、産乳量、空胎期間、自給飼料生産等を確実に把握して経営改善に役立て次年度への目標とするように進めています。

すでに記帳済みの方は指導担当者と十分に検討され、経営改善に役立たせて頂きます。

支所事業予定

十月中旬 地域酪農組合研修会  
(芳賀・河内南部・下都賀地域)

家畜個体識別システムに係る出生報告及び異動報告について

音声応答システムによる出生報告及び異動報告について、携帯

電話の利用が可能になりました。

携帯電話を用いて音声応答システムを利用する場合は、0248(48)0594(報告専用電話番号)に電話し音声応答システムのガイドに沿って報告出来ます。

出生報告カード及び異動報告カードにつきましては不足が生じた場合は、各支所に保管してありますので、随時所轄支所へお申込み願います。



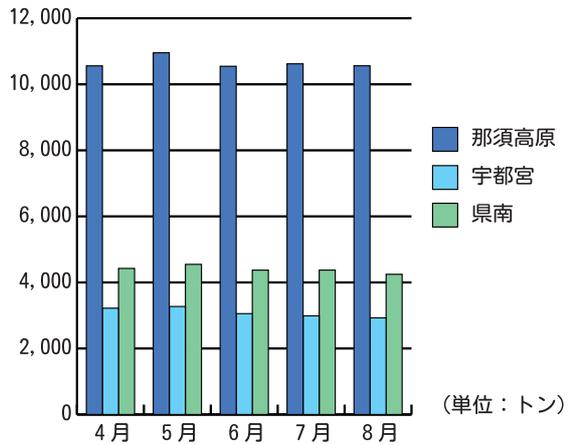
# 部課だより

## 生乳販売部

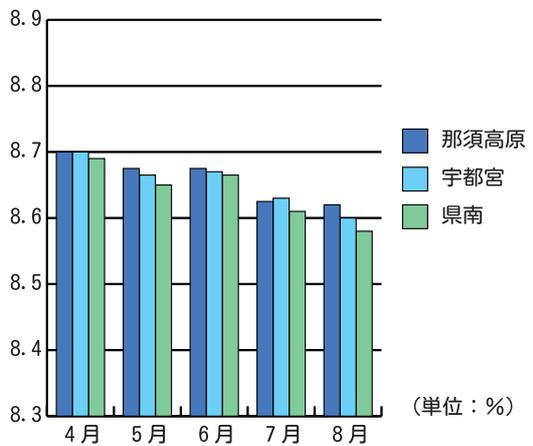
今年の夏は、昨年とは様変わりし酷暑となりました。特にお盆前までは連日暑い日が続ぎ、乳牛にとって非常に悪条件となりました。この暑さの影響で生乳の生産及び乳質低下が心配されましたが、酪農家の皆様の暑熱対策及び飼養管理等によるご努力の結果、乳量については前年を上回る生産となるとともに、乳質についてもこの悪条件の中にも関わらず好成绩でありました。夏が過ぎましたが、乳牛への暑さの影響が本格化するのは秋ですので更なる乳牛の飼養管理に努め、高品質乳の生産をお願いします。

今年度の乳量及び成績の推移は下記のとおりです。

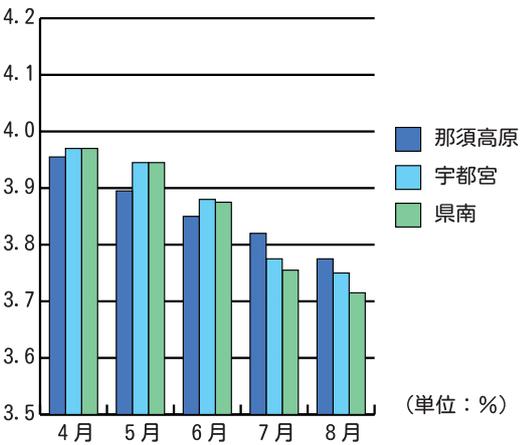
◆乳量の推移



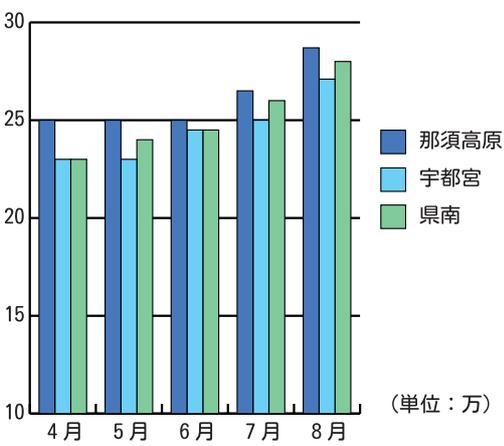
◆無脂固形分の推移



◆脂肪率の推移



◆体細胞数の推移



## 市乳販売部

現在市乳販売部では、十四銘柄の商品(牛乳)を製造し、県内及び関東一円に販売しています。

現在、当組合の工場では、七月上旬より最新鋭の機械を導入し、ESL化商品も製造可能となりました。ESLとは、品質保持期限の延長という意味で、原料から製品に至る製造工程において、より高度な技術と徹底した管理システム体制を整備することによって、牛乳本来のおいしさを保ちながら、品質保持期限を現状より更に七日間延ばした商品のことをいいます。またパッケージも通常のものとは異なり、内側のシール部分を、もう一折中に折りかえす事で、気密性を高めております。ESL化により、流通範囲の拡大、微生物由来のクレーム防止、計画生産が可能となり、生産性が向上しました。



今後も明治乳業(株)と連携をとりながらE S Lの導入を図り、消費者のニーズに応える様に安全で良質な商品開発に努め、尚一層の販促活動に努めて参ります。



ケーブルE S L充填機

## 酪農部

後継者海外派遣酪農研修

実施要領を制定

去る七月三十日の理事会において、後継者海外派遣酪農研修実施要領・細則が承認され、平成十四年四月一日に遡及して実施するこ

とになりました。

つきましては、すでに実施された方、又、今後、研修を計画されている方は、所轄支所・事業所までお問い合わせ下さい。

### 後継者海外派遣酪農研修実施要領

#### 一、目的

明日の酪農を担う後継者を海外酪農先進国に派遣し、海外酪農事情及び生活等の実態を視察研修する事によって、国際的経営感覚を養い、酪農後継者の育成・確保を図ることを目的とする。

#### 二、資格

組合員の後継者で、酪農に従事又は将来酪農に従事することが見込まれる、概ね三十以下の青年とする。

#### 三、申込方法

組合長が特に認めた海外派遣。別紙の海外派遣酪農研修申込書に記載し、研修日程及び費用証明書を添えて所轄支所に申し込むこと。

#### 四、派遣の選考及び決定

組合長は、応募された申込者を対象に書類の審査又は面接により選考し、派遣者を決定する。

#### 五、組合助成

組合は、海外派遣酪農研修に要する経費の一部を助成する。助成額については、別に定める後継者海外派遣酪農研修実施要領細則による。

#### 六、報告

対象者は、海外派遣酪農研修の成果を別に定めるところにより、組合長に報告するものとする。その他

この要領に定めのない事項並びに疑義が生じたときは、組合長がこれを決するものとする。

#### 附則

本要領は、平成十四年四月一日より適要する。

### 後継者海外派遣酪農研修実施要領細則

#### 一、目的

この細則は、後継者海外派遣酪農研修実施要領で定めた事項の助成について定める

#### 二、対象地域

ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の酪農先進国。

#### 三、助成額

組合は、当該海外派遣酪農研修に要する渡航費用等個人負担の五〇%以内の助成措置を講ずる。この助成措置は、本人の助成申請に基づいて、組合長がこれを決する

#### 四、助成の限度

この助成の限度は一人一回限りとし、助成額は二十万円以内とする。

#### 五、その他

この細則に定めのない事項は、組合長がこれを決する。

#### 附則

この細則は、平成十四年四月一日より適用する。

## 家畜市場成績

市場名：西那須野市場

群馬：館林市場

単位：円

単位：円

開催期日	9月15日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	107	-	109,200	10,500	54,296
F 1 雄	86	-	177,450	44,100	122,606
F 1 雌	78	-	120,750	32,550	70,459

開催期日	9月17日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	4	62	77,000	2,000	35,000
F 1 雄	9	70	161,000	124,000	144,111
F 1 雌	10	70	124,000	93,000	110,600



## 八月度理事会

### 報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 農業近代化資金貸付について
- (三) 職員の人事について

### 協議事項

- (一) 七月度事業実績について
- (二) 「JANAすの」との借越契約について
- (三) 黒羽事業所の閉所について

## おしらせ

### 酪農とちぎ枝肉共励会の中止について

今年度予定していましたが、本組合主催、乳用種枝肉共励会は、市場情勢等を考慮し、中止することと決定致しましたので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

### 平成十四年度後期牛群検査並びに体型調査等の実施について

申込期限 十月二日迄  
審査予定日 十月二十二日、三十一日

### 第十五回栃木県ホルスタイン共進会の開催について

## 春夏秋冬



BSEに感染した牛が日本（千葉県）で初めて見つかったのは、昨年九月十日、あれから一年が経過した。

一時大きく落ち込んだ牛肉価格及び消費量はほぼ以前の水準に戻りつつあり、店頭価格は八割程度まで回復した。このところ新たな感染牛が見つかっても価格・販売量への影響は小さく牛肉の動きは

全般的には安定してきたようだ。しかし消費者の中には牛肉絶対拒否と云う層も約一割位あるそうで九割以上の回復にはまだ壁が厚いようである。

一方輸入牛肉は「国産」を偽装できなくなり、いまだに昨年の六割までも回復できないようだ。

また、銘柄牛もまぎらわしい表示をしていた業者が「本物手配」に走りだしたため銘柄牛の品不足をきたしている。栃木県産牛肉が国内銘柄牛の名前で売られているとのうわさも、産地表示が制度化され流通過程が明確になるので今

### 開催期日 十月十九日（土） 開催場所 栃木県酪農試験場 出品頭数 百頭 情報ネットワーク

次号から「情報ネットワーク」のコーナーを設けます、このコーナーは、組合員の情報交換の場として活用頂くものです。中古酪農器具、機材等で不要になり譲りたい、又、探しています等の情報をお寄せ下さい。

（〇二八 六六〇 一三二三）  
酪農部指導課

後聞かれなくなるだろう、と同時に本来の産地としての真価が問われることにもなるう。

消費者の求める「食の安全」について今日ほど強く求められたことはない、遺伝子組換え食品から輸入野菜の農薬残留、今年九月には県内の梨、茨城県のメロンと相次いで事件が明るみに出たが、その余波を受ける生産農家にとって

はたまつたものではない、牛肉の時もそうであったように最大の被害者が常に善良な生産者とならない対策はないものか。

## 編集後記

昨年のアメリカテロ事件から一年が経過した。ふりかえると昨年の九月十一日は、休憩中にテレビでも見ようかとリモコンを押すと映画の特撮シーン？と錯覚する程の衝撃影像にしばし唖然とした。こんな事が簡単に出来るものなのか？という言葉しか出なかったが、忙しさも手伝って、対岸の話で終わってしまった。今年の九月十一日、特別番組で秘蔵映像が公開され、昨年より現実的に考える事ができ、命の尊さと儚さ、無差別なテロに対する恐怖を同時に感じた。

機関誌の発行サイクルが変更となり、毎月の発行を目標に内容等を再検討する事となった。毎月となると少しプレッシャーを感じてしまうが、皆様の要望に少しでも近づければと考えております。